

(個人)

(報告 田 中)

阿能川岳 (1,611m)

【日 時】 24年4月15日 (日) 晴れ

【メンバー】 田 中 (単独)

【行動記録】

太宮 (3時37分、車) → 仏岩ポケットパーク  
(5時40分) → 仏岩峠 (6時31分) → 鉄塔 (7  
時17分) → 三岩山 (9時53分-10時3分)  
→ 阿能川岳 (10時35分-11時) → 仏岩峠 (1  
4時9分) → 仏岩P (14時39分) → 太宮 (1  
8時30分) 上り 4時間半 下り 3時間半

【装備・食料等】

個人装備：携帯電話、ヘッドランプ、雨具、ピッ  
ケル、軽アイゼン、ワカン、コンパス、地図、救急薬、水、食事 (昼食)、行動食

【感想】

火曜日に仏岩峠まで下見をしていたので、ルート、雪の状態等はだいたい理解で  
きていた。それで、服装等準備に不安はなかった。後は雪道での体力だけだ。6時  
前の駐車場にはすでに7台の車が止まっていた。阿能川岳は、谷川岳の南面の好展  
望台で、一般ハイカーはこの時期しか登れないとあって、天気を考慮するとチャン  
スは少ない。初めからアイゼンを付けてのスタートだった。送電線の巡視路のある  
鉄塔までは道があるが、その先は藪である。しかし、今は雪の下にあり、雪原に踏  
み跡が真直ぐに続いている。三岩山までは、いくつかのピークと岩場もあり、2時  
間半の道のりは非常に長い。しかし、晴天に恵まれ、周囲の山に対して遮るものが  
ない展望は足を先に進める。頂上では、6、7人のハイカーが休憩し、谷川、俎峯、  
万太郎等の見事な雪山に目を奪われている。下りで、目に付いたのは、先を行く両  
手にストックを手にしたハイカーがゆっくりではあるが、まったく危なげない足取  
りで雪道を下っていく様であった。追いつきそうで追いつかない不思議さを感じた。  
鉄塔で一緒になった時、随分上手な歩き方ですねと話しかける。200名山にあと  
5つと答えてくれた。休憩も一口水を飲むと、すぐに立ち去った。

